

令和7年度 自己点検・評価シート

基準8 教育研究等環境

	評価項目	評価の視点	担当責任者	担当部局	自己評価委員会 評価結果
①	教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、学生の学習、教員の教育研究活動に必要な環境を適切に整備していること。	・教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、学生の学習環境や教員の教育研究環境を適切に整備しているか。	橋本副学長	管財部	○
		・学生の学習や教員の教育研究活動の必要性に応じてネットワーク環境やICT機器を整備し技術的な支援を行う等により、それらの活用を促進しているか。		総合情報システム部	○
		・学生及び教職員の情報倫理の確立を図るために取り組んでいるか。		総合情報システム部	○
②	図書館サービス及び学術情報サービスを提供するための体制を備えていること。また、それらを適切に機能させていること。	・教育研究等環境の整備に関する方針に基づき、図書その他の学術情報資料を体系的に整備しているか。	郡副学長	図書課	○
		・図書館には、学生及び教員の利用のために、必要な専門的な知識を有する職員を含む人員を適切に配置しているか。また、図書館等の施設環境が適切であるか。		図書課	○
③	研究活動に関わる支援、条件整備を通じ、研究活動の促進を図っていること。また、健全な研究活動のために必要な措置を講じていること。	・研究に対する大学の基本的な考えに沿って、長期的な視点に立った支援や条件整備を十分に行い、各教員の研究活動の活性化につなげているか(教員に対する研究費の支給、研究室の整備、研究時間の確保、専門的な研究支援人材の活用等の人的な支援、若手研究者育成のための仕組みの整備等)。	郡副学長	研究推進センター	○
		・研究倫理や研究活動の不正防止に関する規程を定め、かつ、学生も含めて研究倫理の遵守を図る取り組みを行っているか。		研究推進センター	○
④	教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	・教育研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	橋本副学長 郡副学長	管財部 総合情報システム部 図書課 研究推進センター	○
		・点検・評価の結果を活用して、教育研究等環境に関わる事項の改善・向上に組み込み、効果的な取り組みへとつなげているか。		管財部 総合情報システム部 図書課 研究推進センター	○